

表9 2003・2004年度 飛鳥藤原宮跡発掘調査部 発掘調査・立会調査一覧

調査回数	調査地区	遺 跡	調査期間	面 積	調査地	担当者	調査要因	掲載頁
(2003年度)								
127-7次	5BAS-S・T	飛鳥寺	2004.1.14～2.27	10㎡	明日香村飛鳥	富永里菜	住宅改修	46
127-8次	5AJF-C・D・E	藤原宮内裏東官衙地区	2004.2.12～3.2	240㎡	橿原市高殿町	寛 和也	水路改修	61
127-9次		高松塚古墳	2003.7.28～8.1/9.6～10.8	933㎡	明日香村平田高松	松村恵司	壁画緊急保存対策	46
132次	5AJG-K・L・C・D	藤原宮朝堂院東第三堂・東面回廊	2004.1.7～5.18	1011㎡	橿原市高殿町	市 大樹	学術調査	48
(2004年度)								
134次	5AMD-R・Q	石神遺跡 (第17次)	2004.4.1～10.7	654㎡	明日香村飛鳥	山本紀子	学術調査	74
135次		キトラ古墳	2004.4.1～7.27	2.5㎡	明日香村阿部山	金田明大 花谷 浩 宮原晋一(橿原考古学研究所) 相原嘉之(明日香村教育委員会)	学術調査	3
136次	5AJA-M	藤原宮朝堂院東第六堂	2004.10.15～継続中	2062㎡	橿原市高殿町	市 大樹	学術調査	60
137次	5ALI-J・H	高松塚古墳	2004.10.1～2005.3.31	656㎡	明日香村平田高松	安田龍太郎 松村恵司	学術調査	81
133-1次	5AJH-N	藤原京左京七条一坊	2004.4.5～5.24	242㎡	橿原市上飛驒町	富永里菜	市営駐車場建設	46
133-2次	5BMY-K	本薬師寺	2004.6.14～6.17	18㎡	橿原市城殿町	富永里菜	公民館倉庫建設	46
133-3次	5BMY-K	本薬師寺	2004.6.17～7.1	32㎡	橿原市城殿町	富永里菜	住宅建設	68
133-4次	5AJC-U	藤原宮外周帯	2004.7.12～7.15	25㎡	橿原市高殿町	飛田恵美子	ガレージ建設	46
133-5次	5AMJ-F	水落・石神遺跡	2004.8.2～8.10	177㎡	明日香村飛鳥	山崎信二	道路拡幅	46
133-6次	5AJK-A	藤原宮西面大垣	2004.8.18～8.30	70㎡	橿原市縄手町	飛田恵美子	住宅建設	46
133-7次	5AJC-N・M	藤原京左京六条二坊	2004.9.4～10.25	343㎡	橿原市木之本町	山崎信二	学術調査	70
133-8次	5AWH-H	藤原京左京七条一坊	2004.10.12～11.4	230㎡	橿原市上飛驒町	寛 和也	市道整備	46
133-9次	5BTU-R	豊浦寺	2004.10.12～10.27	13㎡	明日香村豊浦	小澤 毅	向原寺納骨堂建設	72
133-10次	5AKG-J	甘樫丘遺跡	2004.12.7～12.27	214㎡	明日香村川原	小澤 毅	公園整備	46
133-11次	5AJF-E・F, 5AJG-A	藤原宮朝堂院東地区・内裏東官衙地区	2005.1.11～2.2	270㎡	橿原市高殿町	小池伸彦	水路改修	64
133-12次	5BKH-E	川原寺	2005.2.2～3.7	103㎡	明日香村川原	箱崎和久	庫裏建替	46
133-13次	5AJC-N・F	藤原京左京六条三坊	2005.3.7～4.6	200㎡	橿原市木之本町	小池伸彦	学術調査	46
133-14次	5AJF-F	藤原宮朝堂院東地区	2005.3.7～3.9	4.5㎡	橿原市高殿町	石田由紀子	農業用倉庫兼車庫改築	46
133-15次	5AEM-U	山田道	2005.3.7	3.6㎡	桜井市山田	西山和宏	飛鳥資料館看板設置	46

表10 2003・2004年度 飛鳥藤原宮跡発掘調査部 小規模調査等の概要

調査回数	遺 跡	調 査 の 概 要
第127-7次	飛鳥寺	安居院の門・塀設置に伴う立会調査。掘削を伴わない施工方法であったため、地下遺構に影響はなかった。
第127-9次	高松塚古墳	国宝高松塚古墳壁画緊急保存対策の一環としておこなわれた竹林の伐採と、指定地の北～西辺に設置したU字溝敷設工事に伴う立会調査。
第133-1次	藤原京左京七条一坊	市営駐車場建設に伴う発掘調査。調査地は飛鳥藤原第115次調査区の北方に位置する。調査区全面にわたり自然流路と中世以降の沼沢地の堆積層を確認したが、古代の遺構は検出できなかった。
第133-2次	本薬師寺	城殿町公民館の倉庫建設に伴う事前調査。調査地は本薬師寺金堂跡の北方に位置し、平城薬師寺伽藍から想定すると食堂東半部にあたる。調査区は、近世以降の包含層のほぼ直下が地山(赤褐色砂礫層・粗砂層)であり、近世以降の井戸2基を確認したほかは、古代の遺構は検出できなかった。
第133-4次	藤原宮外周帯	個人住宅のガレージ新築に伴う事前調査。調査地は藤原宮東辺の外周帯であり、遺構のない空白地帯と想定されていた。調査区西方に近接する飛鳥藤原第27-3次調査では、藤原宮東面大垣と外濠のほかに弥生時代の土坑を3基検出しており、今回の調査区でも藤原宮期以前の遺構の検出が期待されたが検出できなかった。しかし、調査区の東北部で柱穴を検出したことにより、近隣に遺構が存在する可能性がでてきた。
第133-5次	水落・石神遺跡	道路拡幅に伴う事前調査。調査区は水落・石神遺跡の延長部であり、7世紀には遺構があったものと想定されるが、飛鳥川の氾濫によって、遺構面が破壊され砂礫層が順次堆積したものである。検出した井戸や台所洗い場は明治以降のものである。
第133-6次	藤原宮西面大垣	個人住宅の新築に伴う事前調査。昭和42年に当地の南方で奈良県がおこなった発掘調査では、地山直上で藤原宮の西面大垣を構成する柱列を検出しており、この延長部の検出を目的として調査区を設けた。しかし、北東方向へ流れる平安～鎌倉時代の自然流路を検出したのみで、大垣を構成する遺構は発見できなかった。
第133-8次	藤原京左京七条一坊	市道整備に伴う事前調査。調査区は丘陵の裾部に位置し朱雀大路が近接する。周辺調査では藤原京に関わる遺構や横穴墓などの遺構が見つかり、関連遺構の発見が期待された。しかし、調査区は近世以降に地山まで及ぶ著しい削平を受けており、期待された遺構は検出できなかった。
第133-10次	甘樫丘遺跡	国営飛鳥歴史公園甘樫丘地区の公園整備に伴う事前調査。眼下に飛鳥寺や伝飛鳥板蓋宮跡を望む丘陵東端に位置するが、近年の重機による削平が著しく、古代に遡る遺構や遺物はまったく認められなかった。掘立柱建物など顕著な構造物は当初から存在しなかったとみられる。
第133-12次	川原寺	中金堂北西にある光福寺庫裏建て替えに伴う事前調査。鐘楼もしくは経楼の推定位置で、直径約1mの円柱座をもつ礎石6個のほか、基壇外装にあたる凝灰岩切石列を検出。南北3間・東西2間の建物の東半と考えられる。詳細は次年度の紀要に掲載予定。
第133-13次	藤原京左京六条三坊	飛鳥藤原第45・47・133-7次調査区に囲まれた東西約29m、南北約7mの調査区。礎石1基、藤原京期の掘立柱南北棟建物SB4175、7世紀代の掘立柱南北塀SA4170、井戸2基(7世紀代と中世)、流路1条、斜行溝1条、土坑12基、小穴22基などを検出。
第133-14次	藤原宮朝堂院東地区	農業用倉庫兼車庫の改築に伴う事前調査。調査区の西に近接する飛鳥藤原第41-8次調査では、藤原宮期の東西柱列を検出しており、その4間東に相当すると考えられる柱穴1基を検出した。
第133-15次	山田道	飛鳥資料館の看板設置に伴う立会調査。調査地は飛鳥資料館南方の県道15号線に面する。掘削深さは1mにおよぶが、旧耕土中におさまり遺構面には到達しなかった。

表11 2004年度 飛鳥藤原宮跡発掘調査部 現場班編成 ※総担当者

春	夏	秋	冬
花谷 浩 (遺 構)	山崎 信二 (史 料)	安田龍太郎 (考古第一)	※松村 恵司 (考古第二)
渡辺 丈彦 (考古第一)	※金田 明大 (考古第二)	小澤 毅 (史 料)	小池 伸彦 (考古第二)
※山本 紀子 (考古第一)	内田 和伸 (遺 構)	※市 大樹 (史 料)	箱崎 和久 (遺 構)
富永 里菜	飛田恵美子	寛 和也	渡部圭一郎
竹内 亮	石田由紀子 (研 修)	加藤 雅士	石田由紀子
加藤 雅士 (研 修)			
総括：部長 金子 裕之		写真担当：井上 直夫 (考古第一) 保存科学：村上 隆 (考古第二)	